

# THE MBPT NEWS

## 理学療法医学的基礎研究会ニュース

2003年10月発行  
第7号  
発行人：小塚直樹  
発行所：理学療法医学的基礎研究会  
編集者：山田崇史  
事務局：札幌医科大学保健医療学部  
理学療法学科 小塚研究室  
〒061-8556 札幌市中央区南3条西17丁目  
TEL 011-611-2111 (内2878)  
FAX 011-611-2150  
印刷：広島大学生協印刷部

### 目次

巻頭言：知りたいという欲求（中 徹：吉備国際大学）	1
Welcome MBPT 研究会のホームページ！	2
第7回理事会報告	3
第7回理学療法医学的基礎研究会総会報告	3
会費の納入先案内	4
第8回理学療法医学的基礎研究会学術集会報告	5
・学術集会印象記（発表者：山田英司、松本路子、参加者：清島大資）	
事務局からのお知らせ	7
第9回理学療法医学的基礎研究会学術集会案内	8
・PT学会最終日に同会場で開催されます！	
研究室紹介（札幌医科大学大学院 保健医療学研究科・菊池 真）	10
理学療法医学的基礎研究会設立趣意書	12
理学療法医学的基礎研究会会則	12
編集後記	13
賛助会員広告	

### 巻頭言

## 知りたいという欲求

副会長 中 徹（吉備国際大学）

科学=Science ということばの本来の意味は確か「知る」というギリシャ語が語原となっているはずである。科学はその語原において「知ることそのもの」が目的であったのである。古代ギリシャの当初の「知る」作業は、万物は何からできているのかということを知りたいという欲求を満たす為に自然の理解に多くが費やされたという。おそらくこれが今日の自然科学の原型であろう。古代ギリシャのこの知的営みは、一つはさらなる自然科学の発達へ、またもう一方ではギリシャ哲学の形成へと進化していった。実に知りたいという欲求は人間が生み出す諸文化や諸知識或いは様々な造作物の源であったのである。

しかし、今日「知りたい」という欲求があからさまに姿を現すことは少し具合が悪いように映っている。実際によく基礎的で原理的な実験を行っている「その実験は何の役に立つのか？」「その研究はどのように臨床に生かされるのか？」という問いに晒される。理学療法士はその言葉を聞くと本能的に萎縮してしまう。「とにかくその現象のメカニズムを知りたい」などと更に言いにくい。また、「世の中の研究の90%は別にそんなに重要ではない研究だ」との悪口にたいしても「そうかも知れない」と納得してしまうことも否定できない。

このような風が強く吹いているには原因がある。それは私た